

とっとり 県議会だより

平成30年11月定例会

No.027
11月
Nov.
議会

主な記事 Contents

代表質問	2p
一般質問	3~6p
平成29年度決算を認定	7p
国際交流と海外調査	8p
委員会活動	9p
議決結果	10~11p
お知らせ	12p



～鳥取砂丘から観る名峰・大山～（撮影：柄木孝志）

11月定例会の概要

11月定例会は11月28日、平井知事から総額19億4千万円余の平成30年度鳥取県一般会計補正予算や県営水力発電所にコンセッション方式を導入しようとする県営企業の設置等に関する条例の一部改正など37議案が提案されて開会した。

本会議では、代表質問は会派自民党が行い、一般質問には23名の議員が登壇。県政の幅広い諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会中には、教育委員会委員の人事案件1議案が追加提案された。

審議の結果、知事提出議案については、9月定例会から継続審査となっていた2議案を含む40議案すべてを原案どおり可決、認定、同意した。

請願、陳情については、子ども医療費の完全無料化を求めることについての請願や、保育士が専門性を発揮して働き続けられる保育環境を求めることについての陳情など5件をいずれも不採択と決し、12月19日に22日間の会期を閉じた。

表紙の写真

今年度は大山開山1300年を記念して「大山の四季」の写真を掲載しています。大山圏域をフィールドとして活躍のカメラマン柄木孝志さん撮影の大山です。

今回のテーマは「春の大山」です。



代表質問

会派自民党



選挙区 八頭郡
福田 俊史 議員

知事公約の達成状況

問 平井知事が掲げられた公約「チャレンジ70」の達成状況を問う。

答 公約の中、心課題であった移住定住策についても4000人の目標に対し、7055人を達成するなど、全体の97%ほどは達成ないし達成見込みと分析している。

生涯スポーツの推進

問 健康寿命を延ばすためにも生涯スポーツの取組みや支援は大変重要だ。2021年のWMG(※)では、湯梨浜町がグラウンドゴルフの主会場になると思うが、県内の公認コースを回るような大会を同時開催し、県内を周遊することを検討しては。また、県内公認コースの施設の充実を図り、聖地化に向けた取組みを市

町村と連携して進めては。

答 WMGをにらんで、八東川水辺プラザなど県内のグラウンドゴルフ場の周遊も可能だと思う。情報提供や誘導を考える必要がある。トイレの洋式化などグラウンドゴルフの聖地化に向けた施設整備は市町村の要望を聞きながら検討したい。

新たな森林管理システム

問 平成31年4月からスタートする新たな森林管理システムは、林業の成長産業化と森林の適切な管理に大きく関わる重要項目であるが、市町村の実行体制の整備は順調に進んでいるのか？

答 現在、八頭中央森林組合をはじめ、県内森林組合と話し合いを進めている。智頭や若桜、日南等には県職員を含めた人員配置に協力しているが、必ずしも全市町村が全て整ったという状況ではない。年度末までに体制が整うよう人員派遣も含めてやっていきたいと考えている。

農業生産1千億円に向けて

問 本県の農業生産1千億円達成プランが平成30年3月に策定され、10

年後の達成に向け、官民挙げて取組みを強化する方針が示された。産地における将来ビジョンづくりや後継者の育成等1千億円達成に向けての現在の取組状況は？

答 福田議員の提案から園芸産地継承のモデル事業をスタートした。現在は、八頭の果実部や倉吉のスイカ生産部などで人材の募集や農地の管理等に着手されており、1千億円達成に向けて現場が動き始めている。

鉄道を活用した観光誘客

問 2015年4月に行われた若桜鉄道S1社会実験では1日で1万3千人近くの人が集まり沿線に多くの賑わいを創出した。若桜鉄道は観光面で広域的効果が見込めることから、県は沿線自治体と連携し、S1走行を真剣に検討してみてもどうか。

答 S1走行社会実験は大変な賑わいで、鳥取市内の宿がいっぱいになるなど地域全体に波及効果があった。まずは沿線の若桜町と八頭町、鳥取市で協議していただき、県も広域団体としてその議論の結論を伺い、役割分担を考えることになる。

2巡目国体

問 2巡目国体に向けて、会場となる施設整備をどう進めていくのか。

答 現在他県を調査中だが、市町村

の施設も含め、改修事業はそれぞれの県で支援措置を講じているケースが多いようだ。八頭町のホッケー場の場合も国体を視野に入れて整備される時は、県として応分の役割を果たすことは従来申し上げているとおり。まずは議論を地元でまとめていただくのが先決だと思う。

県立高校の魅力化

問 近年、多くの県内の中学3年生が県外へ理想の高校を求めて流出している。その目的の大半がスポーツだ。今こそ体育コースのある県立鳥取中央育英高校や八頭高校などに有名指導者の配置や寮を整備するなどして、県内外から生徒を受け入れ、強化に取り組むべきでは。

答 (教育長) 現在、鳥取中央育英高校と八頭高校に体育コースを設置し、県内外から優秀な選手を獲得し、競技力の向上や学校の魅力化に努めている。特に県外から生徒を募集するには、住まいなど生活環境を整備することが必要であり、県外から子どもん生徒が来ることになれば寮のニーズも出てくると思う。引き続き地元自治体とも連携しながら、様々な形で受入れ環境の整備を進めていきたい。

※WMG・・・ワールドマスターズゲームズの略。生涯スポーツの国際総合競技大会で4年ごと(オリンピックの翌年)に開催される。次回2021年には日本(関西各地が開催地)で開催される。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会



一般質問

11月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。



島谷 龍司

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

県民が幸せを感じる県政とは

問 平井県政の残る課題について長期的な展望で臨んでいかなければならないが、どのような県政になれば、私たち県民が幸福感を持てる鳥取県になると考えるのか。

答 私たちが、雇用、産業、技術力、教育、農業などの様々な課題に対してしっかりと基礎を固めて、それに意欲的に挑戦する人材が生まれてくれば、県の未来の扉は開かれ、鳥取らしさを自慢できるような将来像を近い未来で実現できるのではないかと期待している。



内田 隆嗣

議員

選挙区 米子市
会派 会派自民党

岸本バイパス、皆生温泉駐車場整備

問 ①岸本バイパス開通後の道路移管の今後の見通しを伺う②皆生海浜公園近くに、半分が皆生養護学校駐車場、半分が空き地の県有地がある。売却も含めて検討とのことだが皆生のために県営駐車場の整備を求める。

答 ①全体の割り振りを町道の整備が進むような段階でもう一度協議し、入れ替えるべきところは入れ替えていくことにしたい②県営の駐車場は賛同しかねるが、やるのであれば米子市に譲渡し、市で作っていただければ結構かと思う。



濱辺 義孝

議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

障がい者の離職防止対策について

問 本年8月中央省庁の水増しが発覚、国の障がい者雇用の実態は公表人数の半数を下回る。県においては、平成29年度の障がい者就職者数のおよそ7割が離職している。雇用を推進する為に、調査研究、委員会設置、条例、事業の見直し等が必要、取組み推進について知事に問う。

答 定着向上の為訪問型ジョブコーチ、とっとり仕事サポーターの養成を推進している。定着支援の在り方研究会を、雇用推進会議と連携しながら設ける必要があるので調査をしたい。



福浜 隆宏

議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

①IT・AI②町内会加入③不登校

問 ①効率化と所得向上のためIT・AI導入による生産性・サービス向上は喫緊の課題。今議会提案の生体認証システムに続く、第2・第3の社会実験を②鳥取市・米子市は3軒に1軒が町内会未加入。防災、高齢化、顔が見えにくい時代ゆえに対策を③自宅でも学べる機会保障に向けIT等活用の個別学習整備を。

答 ①コンパクト県で社会実験に適す。今後も挑戦②自治会活動顕彰の表彰対象に加入率向上を加える等、積極貢献する③大切な視点。モデル的導入検討する。



藤井 一博

議員

選挙区 東伯郡
会派 会派自民党

成年後見制度 S はくと延伸等

問 ①成年後見制度へのサポート体制の充実が必要では②特急Sはくとの赤碓駅または由良駅までの延伸は③人形峠環境技術センター、県、三朝町間での環境保全協定の進捗について問う。

答 ①東中西部にある支援組織に状況を伺い、必要に応じて人員配置等支援すべき内容があるか点検する②訪日外国人客が由良駅に乘降されるケースが増えるなど事情は変わってきている。JRに対し粘り強く要望していく③三朝町の意向を優先しながら、鋭意折衝を進めていく。



坂野経三郎

議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

インターバル制度 寄付型自動販売機

問 働き方改革関連法で努力義務とされ、国が2020年までに10%の導入を目指す勤務間インターバル制度(※)は、過労死等を防止する意味でも必要不可欠だ。鳥取県内の導入目標を問う。

答 10%の導入企業を目指す。

問 障がい者スポーツ団体や全国被害者支援ネットワークから、寄付型自販機が運営に役立っていると聞いた。県が設置者となっている自販機には、寄付型自販機を導入して、社会貢献する流れを鳥取県から作るべき。

答 制度の改善を図っていく。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

中小企業事業承継 医療費妊婦加算

問 ①県内中小企業への、事業承継支援のスピードアップが必要だ②中小企業の退職金制度導入に支援を③医療費妊婦加算制度は少子化対策に逆行。国に制度改正を要望すべき。

答 ①東・西部の県内2か所に事業承継センターを作り、人員も18名に増やした。後継者のいない事業所と全国の創業希望者のデータベースを活用しマッチングを図る②中小企業退職金共済制度のアピール等を強化する③一律の妊婦加算は納得いかない。国へ制度改正を要望する。



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

知事選、ピヨ存続 ろうあ者体育大会

問 ①ぜひ出馬し4期目は次のステップの仕事がされたい②鳥取地どりピヨ⑦生産体制で進展は④親鶏の供給は③全国ろうあ者体育大会⑦歓迎受入と競技応援を①教師生徒の関わり合いは。

答 ①強い後押しをいただき感謝。御礼を申し上げる②⑦新組織の立ち上げを応援。4月下旬の出荷を目指す当面、冷凍600羽でしのぐ④中小家畜で2～4月出荷可③⑦100日前イベントなど企画。当事者に寄り添った運営に①(教育長)児童生徒等が多くかわるよう協力。



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市
会派 希望(のぞみ)

労働力不足と 県民所得の向上

問 1人当たり県民所得250万円という目標を掲げて、各産業、業種ごとに具体的な数値目標を示し、その達成に向けて取り組んではどうか？

答 ジャンル別の生産等の目標を考えて、それを地道に実行していけば、県民所得250万円は近い将来達成し得る。次の4年間の任期で、議員の皆さんが再度議論されたいと思う。県としても、それに向けて生産増強、それが所得の分配につながっていくという観点で取組みを強化していきたい。



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 会派民主

由良川、北条川 溢水対策に全力で

問 9月末の台風24号で由良川並びに北条川上流の大規模な溢水により大きな被害が出た。どのように総括しているのか。

答 1日の降水量は、今回が226mmで、62年の台風19号の191mmを上回る量だったが、床上浸水が80戸から2戸、床下浸水が270戸から3戸に減り改良の成果はあった。由良川は、河床の掘削や川幅の拡幅、北条川は、北条放水路の軟弱地盤地域対策の対応をしっかりと進めた上で、JR橋の架け替えに向けた概略設計を進めたい。



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

漁業法改正 志戸坂峠道路

問 ①漁業法改正の新資源管理導入円滑化推進事業はどのようなものか。また、本県への影響は②高規格道路の鳥取自動車道で、志戸坂トンネルを挟んだ区間は一般道路だ。今後の予定を伺う。

答 ①漁獲量を管理するもので、個別の船の漁獲も割り当てるが、本県は既に多くを導入しており直ちに激変は起きない。不明な部分もあるので説明会を開き協議していく②課題も種々ある。特に昨年大雪で大渋滞が起き国も問題意識を持っている。国に対ししっかりと働きかけたい。



松田 正 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

フッ化物洗口推進 高校の部室整備

問 ①県歯科保健推進計画によると、5年間で全市町村の小中学校でフッ化物洗口を実施することだが、過去全く進捗が無かった。どのように取り組まれるのか②県立高等学校の耐震化は終わった。部室の整備を年次的に行うべきでは。

答 (教育長)①導入の手順・有用性などを具体的に整理したマニュアルを作成し、市町村・学校現場の理解を求めたい②耐震化工事を優先し一時中断状態にあった。老朽化等を勘案しながら整備を進めてまいりたい。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



西川 憲雄

議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

地方創生とは、どの様な社会の姿？

問 地方創生への取組みとして、①少子化の原因は？人口減はトータルとして“悪”か？今後の行政の責務は？何に取り組んで実現するのか？②地方創生に向けて教育の役割は？

答 ①晩婚化もあるが、生涯未婚率が上っている。人口減社会を前提として、出生の問題、少子化対策、移住対策等に取り組んでいる。新しいジャンルに取り組む生産性を上げていく②(教育長)キャリア教育、地域と連携した探求活動に力を入れる事により自己肯定感を高めていく。



錦織 陽子

議員

選挙区 米子市
会派 共産党

増税反対・福祉灯油と通学費助成を

問 ①消費税増税時の景気対策では対策にならず、県経済と暮らしに重大な影響。増税反対を②灯油はH28年比し当たり500円値上がり。低所得層に福祉灯油を③世帯の負担を抑えるため高校生の通学費助成を求める。

答 ①社会保障の負担が膨らむ中での議論。増税は痛みを伴うが今後を見据えた対策を国地方も協力して打つべし。県内経済は堅調、概ね前年比同②今後市町村の状況、国制度等みて対応を考える③町村会等から要請もあった。制度化を検討してみる。



澤 紀男

議員

選挙区 米子市
会派 公明党

水素エネルギーの推進ビジョン

問 日本海側での水素社会のトップランナーを目指す取組みとして、鳥取県水素エネルギー推進ビジョンの推進状況と計画について所見を伺う。

答 国と同様にビジョン達成にはほど遠い状況。ただ、そういう中でも水素ステーション設置に向けた研究会やモデル的なスマート水素タウンの実現に向けて、実験事業として導入的なことができないかという研究作業もスタートさせた。私どもなりのモデル事業等の推進を図って行きたい。



市谷 知子

議員

選挙区 鳥取市
会派 共産党

日米FTA、漁業法障害児者、教員増

問 ①日米FTA中止②幼児教育無償化は給食費も③漁協の優先漁業権や海区調整委員公選制廃止の水産改革中止④障害者医療費元の無料に⑤障害児放課後デイ報酬改善を⑥障害者医療型ショートステイ空床保障復活⑦学童保育支援員2名を1名に緩和は危険⑧教員増で働き方改善を。

答 ①交渉過程を国民に伝える必要がある②求めない。県事業は市町村と協議③漁業者意見反映と説明求める④しない⑤不利益ないか確認⑥使い易くする⑦市町村が検討する事⑧国が行う事。



広谷 直樹

議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

海岸浸食と再生可能エネルギー対策

問 ①浦富海岸で試験施工した鳥取方式のサンドリサイクル工法の評価と今後の展開は②海岸浸食は地元住民の大きな関心事だ。恒久的な対策を望む③電力の固定価格買取期間満了後、家庭での太陽光発電普及の鈍化が危惧される。所見は。

答 ①一定の成果は得られた。一つのやり方として確立したい②色々な技術的アプローチや工夫が必要。英知を結集し関係者と共に全力を挙げたい③エネルギーの地産地消をめざし、市町村、関係者とよく協議する。



野坂 道明

議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

淀江産業廃棄物最終処分場について

問 産廃処分場未整備は本県含め3県だけとなる中、県外の産廃搬入規制は36道県で実施されている。平成25年、30年と商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会から一刻も早い設置を求める要望書が提出され、議会も共産党を除く全議員が関連予算を可決し事業が推進されているところだが、県はどう受け止めているのか。

答 廃掃法の中に適正な設置と管理監督並びに地域内での処理があり、県には最終処分場を県内で用意する努力義務がある。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



浜田 一哉

議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

水産業を取り巻く諸課題について

問 ①境港市市場が高度衛生管理型市場となるが、水揚げされた魚がブランド化に繋がってこそ意義があると考えますが、知事の所見は②魚市場の競りの見学は外国人にも人気がある。観光活用についてどう考えているか？

答 ①他県では、市場出荷が飛躍的に伸びた例もある。新しく生まれ変わった境港を世の中にPRする事業を組んでいく②2号上屋を利用し多言語に対応できる観光ルートを考えている。大型ツアーに対応する専門の外国人対応のガイドの配置など検討する。



浜田 妙子

議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

ロービジョンケア 皆成学園、里親

問 ①鳥大病院のロービジョン(※)外来設置はどう進んでいるか②皆成学園の特殊勤務手当は現場状況に合わない。見直しを③国の社会的養育ビジョンが示された。県はその方針に取り組めるのか。里親相談員体制の強化を。

答 ①4月1日開設に向け、県も全県の支援ネットワーク化や啓発PRを行う②公務災害に発展する事象もあり、もう一度精査する必要がある③難しい問題で、国にもう一度考えをまとめて頂きたい。里親相談支援体制強化等も一つの方策となる。



長谷川 稔

議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

チェーン義務化と原発の安全協定

問 ①この冬から豪雪時の高速道路等でタイヤチェーン装着が義務付けられる。県はどのように対応するのか②島根原発3号機の新規制基準適合性審査申請に際し、立地自治体と同様の安全協定締結に傾注されたい。

答 ①規制周知や迂回路等の対策を検討するため対策会議を早急に開催する②申請に対しては「可否判断を留保」と回答。中国電力は回答の意味合いを承知のことと思う。今後も強く周辺自治体の意見が尊重される仕組みをつくるよう求めていく。

- 【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
【会派自民党】 会派自民党
【会派民主】 会派民主
【公明党】 公明党鳥取県議会議員団
【希望】 鳥取県議会会派希望
【共産党】 日本共産党鳥取県議会議員団

会派正式名称



浜崎 晋一

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

未来につなげる本県の安全・安心

問 近年頻発する災害の状況を踏まえ、安全・安心を確保する姿勢を県民に示すためにも、あらかじめ何らかの財政措置を形として示す仕組みを考えては。また、現在ある基金を点検して、本当に必要な額まで見直し、その中から今後の安全・安心づくりに必要となる財源を捻出していくことが必要ではないか。

答 当初予算でメニュー化できるものがないかどうか検討する。国の財政支援が限られる中、基金についてもご提言をもとに見直しをさせていただく。



森 雅幹

議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

淀江産廃処分場の方式について

問 熊本や栃木では、処分場の方式について、一切水を流さない遮蔽型のクローズド型に変え、住民の理解を得て作っている。地域の住民に心配がある施設は、国の安全基準に適合しているようが、作ってはならない。クローズド型の方針を変えるべきではないか。

答 どのように地域の合意や、一番大切な安全を図るかは、県も後見役として、一定の役割を果たす段階も来るかもしれない。今日の意見を受け止めた上で、適正に向かい合っていく。

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長は知事の部局ではないため別に表記した。

※ロービジョン・・・視機能が弱く矯正もできないが全盲ではない視覚障がい。

平成29年度決算を認定

決算審査特別委員会は、12月18日、「平成29年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成29年度鳥取県営企業決算の認定について」「平成29年度鳥取県営病院事業決算の認定について」「平成29年度決算の認定について」の3議案を可決、認定すべきものと決定し、19日の本会議で可決、認定された。

鳥取県議会では、適正な予算の執行と編成のために、決算審査特別委員



委員会を通年設置とし「総務教育」「福祉生活」「農林水産商工」「地域振興県土警察」「県営企業」「病院事業」の6分科会を設け、効率的かつ詳細な審査を行っているほか、新年度予算に審査結果を反映させるため、11月定例会で決算認定を議決している。

決算関係の3議案は、9月定例会から審査を開始。分科会ごとに書類審査、執行部所管課からの集中審査、質疑、現地調査などを重ね、最後は委員全員で議論した。

その結果、文書指摘8件、口頭指摘13件をしたうえで、可決、認定が妥当と決した。

同委員会は2月定例会で、指摘事項を予算にどう反映したか、知事ら執行部から説明を求め、決算と予算の審査を一体化することで、より適正な予算編成を実現するよう努力したいとしている。



文書指摘の概要

- (1) **移住定住の推進** 移住定住の促進事業が実施されているが、イベント経費が高額であったり、移住に結びついたケースの把握が不十分である。事業の効果や効率を高めるためにも、よりの確に把握する方法を検討し、なお一層のフォローアップを行うべき。
- (2) **投票率の向上に向けた取組** 投票参加は民主主義の根幹であるが、投票率は年々下降傾向にある。特に投票率の低い若年層への働きかけを一層高めたり、期日前投票所の増設や移動困難者への対応など、市町村選挙管理委員会へ働きかけるべき。
- (3) **障害者就労継続支援事業所の評価** 障害者就労継続支援事業所では工賃3倍化に取り組んでいるが、工賃引き上げの成果だけでなく、福祉施設として、利用者への支援の質の高さなども評価に含めるような、県独自の評価方法も検討するべき。
- (4) **皆成学園の障がい児支援と労働環境** 生活に多くの支援を要する強度行動障がいを持つ児童が生活しているが、男女別の設備整備や過剰児対策などの児童への支援内容を検討するとともに、職員の人員配置や労働環境を見直し、負担軽減を図るべき。
- (5) **再生可能エネルギーの導入** 太陽光発電の固定価格買取期間の終了を控え、自家消費に向けた対応検討を強化するとともに、地域住民からの理解を得ながら、本県にふさわしい再生可能エネルギーの導入を推進していくべき。
- (6) **債権回収のあり方** 県が抱える未回収債権の多くが返還期間を超過した回収困難債権である。複数の債務がある者の情報を担当課間で共有したり、返還の見込みがない債権の処分を検討するなど、債権の適正な管理を図るべき。
- (7) **県立病院の医師確保と時間外労働** 県立病院はいずれも医師不足で、医師の労働時間も超過が慢性的に続いている。医師の業務を医師以外の職種で分担したり他の医療機関と連携強化を図るなど、勤務環境を整えるとともに、医師確保に取り組むべき。
- (8) **学力向上や生活習慣の定着等** 全国学力・学習状況調査では、全国平均を下回る教科が複数あった。基本的な生活習慣が確立し、意欲・関心が高い者は、平均正答率が高い傾向がある中、学力向上の取組や生活習慣の定着、意欲・関心を向上する取組を充実強化すべき。

国際交流と海外調査

ブラジル訪問団

7月21日にブラジルサンパウロ州においてブラジル日本移民110周年記念式典が、同24日にはブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典が開催され、福岡副議長を団長に3名の議員が参加した。ブラジル日本移民110周年記念式典は、日本からは、秋篠宮眞子内親王殿下及び18県の知事や議長等が出席し、盛大に執り行われた。また、ブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典にも出席したほか、第二アリアンサ鳥取村や本県関係の日系企業などを訪問した。この訪伯で、ブラジルにおける日系人や日本人に対する社会的評価の高さを実感するとともに、これらを強みに、経済的交流の裾野を広げながら更なる日伯交流の好循環につなげていく取組みの必要性を強く感じた。



ベトナム訪問団

10月22日から26日まで安田議員を団長に4名の議員をベトナム社会主義共和国へ派遣し、外国人の人材活用のあり方をはじめ、県産食品の販路拡大や、観光誘客の可能性等についての調査を行った。



技能実習のための教育センターをはじめ、日本産食品を取り扱う商社、在ホーチミン日本国総領事館、ジェットロホーチミン事務所、日本政府観光局ハノイ事務所等を訪問し、日本語教育の状況、日本産食品の販売状況、訪日観光客の動向等について調査を行った。

ベトナムと本県とは、今後も人材交流をはじめ、経済、観光などの幅広い分野で、さらに交流や連携を深められる可能性が十分にあると感じた訪問であった。

香港訪問団

10月24日から27日まで広谷議員を団長に3名の議員を香港へ派遣し、本県産品の販売やインバウンド観光の振興、現地での県内企業の活動の可能性等について調査を行った。



ジェットロ香港事務所、香港貿易発展局では、現地の経済情勢や香港での日本産品に対する評価などについてお話を伺った。併せて、イオンスタイルコーンヒル店を訪れ、販売状況を調査した。また、本県へのインバウンド観光振興について、EGLツアーズ社や日本政府観光局香港事務所でも最新状況を伺うとともに、今後の取り組みについて意見交換を行った。最後に、世界有数の技術革新の中心地となっている広東省深セン市を訪問し、IT技術の活用状況を調査した。香港や深セン市などでは今後も更なる経済発展が見込まれる。県議会としても、引き続き関心を持っていきたい。

台湾訪問団

10月31日から11月3日まで藤縄議員を団長に4名の議員を台湾へ派遣し、本県における観光産業の振興、県産品の輸出拡大及び教育水準の向上等を図るための調査を行った。また、11月2日には本県と台中市との友好交流協定締結式典に立会した。



台湾日本関係協会、日本台湾交流協会台北事務所、台中市立沙鹿国民中学、台中市温泉観光協会、裕毛屋台中崇徳店、九二一地震教育園区、台中フローラ世界博覧会会場などを訪問し、定期便就航に向けての観光交流のさらなる促進、台湾の中学校における英語教育の現状、牛肉等の県産品の輸出促進、防災教育の取組等の最新の動向について調査し、意見交換を行った。

今後とも交流を一層拡大するとの認識を関係各位と共有し、台湾とのさらなる関係発展の礎となる有意義な訪問とすることができた。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続調査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



11月定例会では、本委員会所管の平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）や条例の一部改正、公の施設の指定管理者の指定等の4議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決すべきものと決定した。

また、11月22日に、県政の課題等に関する多様な県民の意見を議員間で共有し、常任委員会の審査等に生かすため、地域に出向き広く県民の意見を聴く出前県議会を、「地域と連携した学校の特色・魅力づくりについて」をテーマに、鳥取県立青谷高等学校において開催した。当日は、青谷高等学校活性化を支援する会や青谷高等学校の関係者が出席され、取組状況を聞き取るとともに意見交換を行った。

福祉生活病院常任委員会



11月定例会では、本委員会所管の補正予算、条例の一部改正や公の施設の指定管理者の指定といった11件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された請願1件、陳情2件について、慎重に審議を行った結果、子ども医療費の完全無料化を求める請願については不採択、保育環境の改善に関する陳情2件については、いずれも不採択に決定した。

そのほか、8月末に実施した第2回県外調査結果を県施策に反映されるよう、「障がい者の工賃向上に向けた取り組み」及び「風力発電施設建設及び小型風力発電設備設置についてのルールづくり」について提言を行い、執行部と活発な意見交換を行った。

農林水産商工常任委員会



11月定例会では、本委員会所管の「平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）」など11件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情が1件あり、慎重に審議を行った結果、「外国人技能実習生制度をはじめとした、外国人雇用の労働実態の適正化に係る意見書の提出」を求める陳情については、受入れ企業の責務や雇用契約基準など、国において必要な対策の検討を進めており、県としても必要な対策を行うよう国に要望していることから不採択と決定した。

11月21日には「経営革新や事業承継をはじめとした県内企業の諸課題」をテーマに米子市内で出前県議会を開催し、関係団体から取組状況を聞き取るとともに意見交換を行った。

地域振興県土警察常任委員会



11月定例会では、平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）など15議案について慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

併せて、新規の陳情1件について慎重に審議を行った。その結果、「航空機の安全運航に係る意見書の提出について」は、国土交通省では「航空従事者の飲酒基準に関する検討会」を設置し、運航乗務員の飲酒に係る基準案を年内に策定する予定であること等から、不採択と決定した。

また、11月26日には「鳥取港整備・利活用の現状と課題」をテーマに鳥取市内で出前県議会を開催し、関係団体と意見交換を行った。なお、出席者からの意見を踏まえ、12月25日、26日の両日、中国地方整備局及び国土交通省本省を訪問し、要望活動を実施した。

自由民主党				会派自民党				会派民主				公明党		希望	共産党	無所属	賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果												
浜崎晋一	浜田一哉	広谷直樹	前田八壽彦	松田正	安田優子	上村忠史	内田隆嗣	福田俊史	藤井一博	藤縄喜和	山口享	稲田寿久	伊藤保	興治英夫	坂野経三郎	浜田妙子					福岡裕隆	森雅幹	銀杏泰利	澤紀男	濱辺義孝	川部洋	横山隆義	市谷知子	錦織陽子	長谷川稔	福浜隆宏	
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決及び認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	決定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
…請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑳	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立倉吉体育文化会館）について	可決
㉑	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立鳥取産業体育館及び鳥取県営鳥取屋内プール）について	可決
㉒	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立米子産業体育館）について	可決
㉓	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立夢みなとタワー）について	可決
㉔	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立障害者体育センター）について	可決
㉕	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館）について	可決
㉗	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区を除く。））について	可決
㉘	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区に限る。））について	可決
㉙	公の施設の指定管理者の指定（天神川流域下水道）について	可決
㉚	公の施設の指定管理者の指定（とっとりバイオフロンティア）について	可決
㉛	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立農村総合研修所）について	可決
㉜	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県境港水産物地方卸売市場及び境漁港）について	可決
㉝	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立みなとさかい交流館）について	可決
㉞	当せん金付証券の発売について	可決
㉟	鳥取県税条例等の一部を改正する条例	可決
㊱	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意

平成30年11月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	自由民主党					
		内田博長	齊木正一	島谷龍司	中島規夫	西川憲雄	野坂道明
9月定例会 ②④	平成29年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成29年度鳥取県営企業決算の認定について	○	○	○	○	○	○
9月定例会 ②⑤	平成29年度鳥取県営病院事業決算の認定について	○	○	○	○	○	○
③⑥	平成29年度決算の認定について	○	○	○	○	○	○
	決算認定に係る指摘事項〔9月定例会第24号及び第25号並びに11月定例会第36号〕	○	○	○	○	○	○
⑤	平成30年度鳥取県営工業用水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○
⑨	鳥取県営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
②⑥	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立布勢総合運動公園（コカ・コーラ ボトラーズジャパンスポーツパーク））について	○	○	○	○	○	○
③④	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター中期目標の制定について	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告					
請願30年-30	子ども医療費の完全無料化を求めることについて	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-26	外国人技能実習生制度をはじめとした、外国人雇用の労働実態の適正化に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-27	航空機の安全運航に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-28	待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-29	保育士が専門性を発揮して働き続けられる保育環境を求めることについて	不採択	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は記事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

平成30年11月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
①	平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）	可決
②	平成30年度鳥取県県営林事業特別会計補正予算（第2号）	可決
③	平成30年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算（第1号）	可決
④	平成30年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第3号）	可決
⑥	平成30年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第3号）	可決
⑦	鳥取県家畜保健衛生所の名称、位置及び管轄区域等を定める条例の一部を改正する条例	可決
⑧	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
⑩	鳥取県営病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑪	鳥取県港湾管理条例の一部を改正する条例を廃止する条例	可決
⑫	工事請負契約（鳥取県立米子コンベンションセンター舞台吊物機構設備改修業務）の締結について	可決
⑬	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立人権ひろば21）について	可決
⑭	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立県民文化会館（とりぎん文化会館））について	可決
⑮	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立童謡館）について	可決
⑯	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立米子コンベンションセンター）について	可決
⑰	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立倉吉未来中心）について	可決
⑱	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立武道館）について	可決
⑲	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県営ライフル射撃場）について	可決

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

- ※ 傍聴席に同時手話通訳が見られるディスプレイを設置しています。
- ※ 音声を聞き取りづらい方には、補聴イヤホンの貸出しもあります。
- ※ 乳幼児を連れての傍聴も可能です。



託児サービスも引き続き行っています。
ご希望の方は5日前までに県議会事務局へお申し込みください。



県議会ホームページのご案内

鳥取県議会



アドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>

- 県議会のしくみや議会日程、議員紹介など様々な最新の情報を掲載しています。
- 本会議、常任委員会、特別委員会、全員協議会は、全てインターネットで生中継と録画中継をしています。常任委員会、特別委員会、全員協議会は、資料もご覧いただけます。県議会ホームページの



県議会インターネット放送局 からご覧ください。

- 平成7年5月臨時会以降の県議会本会議の議事録をインターネットから閲覧できます。時期・質問者・答弁者・単語などいろいろな方法で検索ができます。ご利用ください。



本会議議事録検索

2月定例会の日程案

期 日	日 程
2月12日(火)	本 会 議(開会・提案理由説明)
13日(水)	常任委員会
14日(木)	
15日(金)	本 会 議(代表質問)
19日(火)	
21日(木)	
22日(金)	本会議(先議議案質疑)・常任委員会
25日(月)	本 会 議(一般質問・質疑)
27日(水)	
28日(木)	
3月 4日(月)	
5日(火)	常任委員会
6日(水)	
7日(木)	特別委員会
8日(金)	本 会 議(採決・閉会)

※ 午前10時開会の予定です。
※ 日程は変更の可能性があります。

● ● あとがき ● ●

議員の活動は多岐にわたりますが、中でも本会議での質問戦は花形です。本会議場での傍聴のほか、インターネット生中継や録画放送でも見ていただくことができます。また、広報委員会が編集しているこの県議会だよりも含め、さまざまな媒体をご用意しております。県政や県議会をもっと身近に感じていただけるよう、引き続き努力して参ります。

(広報委員会 5)

